

# 職員紹介

指導員 小島 孝之

4月から吉沢学園の指導員として働き始めましたが、毎日が色々と学ぶことばかりです。園生の方々と一緒に、感動したりと充実した日々を過ごしています。自分は、明るく元気な人間なので、その性格を生かして頑張っていけたならと思っています。毎日一步ずつ努力し、一生懸命、頑張りますので、どうぞ、宜しくお願ひ致します。

指導員 馬場 友治

埼玉県、草加市で生まれ、3歳から東京の足立区に住み始め、22歳の今年、千葉県市原市牛久に住んでいます。施設で働くのは初めてで、右も左も分からぬ中、早4ヶ月が経ちました。ようやく仕事にも慣れ、利用者の方達と楽しい日々を送っています。7月から新しい方達も入所してきましたので、一日も早く利用者の方を理解し、一人前の指導員として、接していくよう頑張っていきたいと思っていますので、どうぞ、宜しくお願ひ致します。

調理員 吹野 のり子

4月より調理員としてお世話になっています。私にとって始めての仕事で慣れないことばかりですが、良き先輩方に囲まれて、ただ今、頑張っております。皆さんに、おいしい食事をしていただけるよう、焦らず、一つ一つ勉強していくつもりですので、宜しくお願ひ致します。



指導員 佐瀬 拓

体操を終え、「林産のみんな～集まって～」の声で林産班の園生が集まっています。「みんな、手をつないで～」という私は、実は、新人なのです。誰と誰が手をつなぐのか今一つ分かっていません。でも、園生は仲間同士、手をつなぎます。そして、感心している私を先頭に作業場へ。今日は原木組みです。早速、Aさんが原木を持ってきました。「Aさん、原木を渡してください。」Aさん、無表情に渡してくれます。「ズシッ！」（うっ重いじゃねーか）力はないけどけっこう負けず嫌いな私は、無表情を装いつつ組んでいきます。こんな調子で一日一日が過ぎていきます。吉沢一年生の私は、作業や生活の中で園生に教えられたり、手伝ってもらったりすることがいっぱいです。まだ、彼らのことを少ししか知らないように思えます。でも、これから、もっともっと知り、一人一人が充実した生きかたを見つけていく手伝いができたならと思います。頼りない指導員の私ですが、吉沢の皆さん、楽しく頑張っていきましょう。

——御苦労様でした——

指導員 山田 真紀子

この度、都合により、7年間、指導員として勤務された山田真紀子さんが6月30日付けで退職されました。長い間、御苦労様でした。

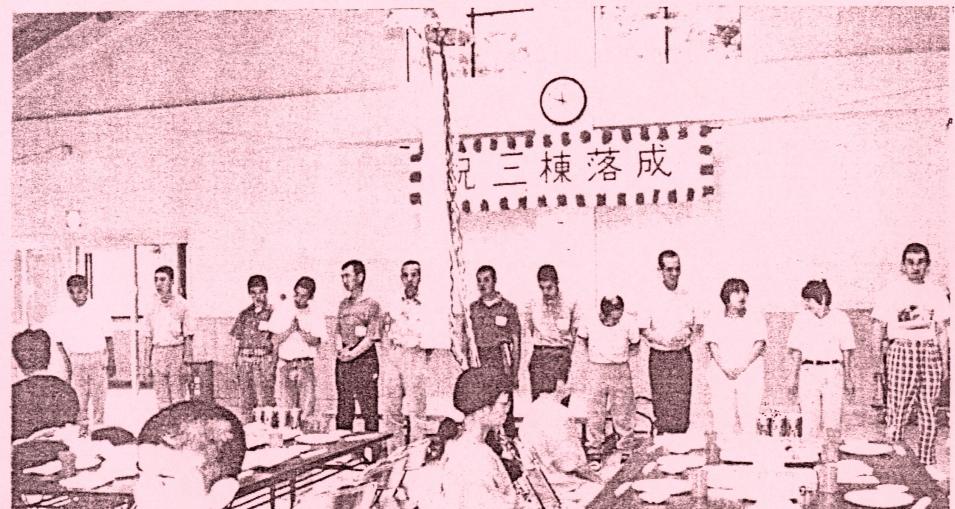
——編集後記——

夏真っ盛り、毎日、暑い日が続いています。7月に3棟が完成し、引っ越しや新しい園生の入所、作業班の移動等、慌ただしい日が続きましたが、皆、環境の変化にも少しづつ慣れてきたようです。これから、色々なことを経験し、楽しい学園生活を送っていきましょう。

1996.8.10 新

# ききょうtimes No.26

発行：吉沢学園 〒290-05 千葉県市原市吉沢117番地 ☎0436-98-1562



## 『祝』 三棟竣工

園長 林 奉子

平成8年7月待ちに待った三棟ができ上りました。これに伴い園生20名増、にぎやかになりました。平成元年の開設当時を思わせる日々が続いています。

7月4日大安の日、高滝神社の神主さんをおよびして、この棟での生活が安全でできるようにお払い（なおらいの儀）をしました。

7月7日には園生と職員全員で完成の内祝を2階の体育館（通称）で行いました。園生がボールを投げても、とどかない位、天井は高く、明るい窓からは山の木立の緑が見え、広々とした床は気持ち良く、思わず走って見たくなります。夏は冷房、冬は暖房が入りますので暑さ寒さを気にすることなく、いつでも使用できます。現在は雨の日の朝会、ラジオ体操や午後の余暇指導に使われています。道を通ると、にぎやかな声が聞こえて来ます。この声をきくにつけて「出来てよかった。」という実感がひとしお身にします。

一階は園生20名の生活の場所です。明るい食堂、浴室、手洗い場には全身を写す大鏡等あり、身だしなみについても自分で見て直すことができます。ロビーでは、テレビに見る園生、本を読む、カセットで楽しむ者、指導員と語り合う姿が見られます。こうした事を見聞きするにつれ、保護者の方々の御協力、市原市、千葉県、各市町村の御協力に感謝致すと共にこの施設を園生をはじめ多くの方々に利用して頂けるように運営して参りたいと思います。